

ちゅら島環境税（仮称）導入検討委員会設置に関する要請

沖縄県は、我が国唯一の亜熱帯海洋性気候とその気候風土が織り成す自然景観、貴重な動植物、世界有数の美しく豊かな海等の自然環境を有しております。

しかしながら、現代の社会経済の発展に伴う大量生産、大量消費、大量廃棄の弊害と観光旅行者を含む心ない人々による投棄ゴミ、産業廃棄物・大型家電製品の不法投棄、放置車輛、外来種による固有種の被害、松食い虫による琉球松の被害、増加する外国からの漂着ゴミ、赤土の流出、オニヒトデによるサンゴの被害等々、本県の自然環境は危機的状況にあります。

この現状を少しでも改善するべく、近年各市町村、各種団体、児童・生徒、NPOボランティアが美化保全活動を行っておりますが、その限界を超え環境悪化が進んでおります。

特に離島の市町村においては、観光旅行者の増加に伴う一般ゴミ及び年々増加する外国からの漂着ゴミ処理等、環境美化と保全の財源確保は非常に厳しくなっております。

以上の様な理由から、環境美化と保全の財源確保を目的としてちゅら島環境税（仮称）導入の為の検討委員会設置をお願い致します。

つきましては、沖縄県の環境悪化の切実なる現状をご斟酌の上、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。